

例 会 の お 知 ら せ

1 月 の 例 会

**太陽活動と気象**

日時：昭和34年1月30日（金）午後1～5時  
 場所：気象庁第1会議室（千代田区大手町1の7）  
 一般研究発表

1. 高橋浩一郎（気象庁予報）：太陽活動と気象との関係について（30分）

太陽活動度の指数として黒点数とK-指数をとり、それらと500mb高度偏差との関係をしらべた。黒点との関係の方が相関が大きく、太陽活動がまずと大気大循環の南北混合が増すという仮説がよく成立つことを知った。

2. 北村正丞（気研）：太陽活動度と高層気温の変動（20分）

ベルリン Warming の観測以来太陽活動と上層気温の変動との関係は多くの研究者の注目をあびているが、こゝではKp-指数と上層気温との関係を1950—57年の8年間についてしらべた。館野の例では $Kp \geq 45$ 日の4日後に80mbふきんの気温がわずかに上昇することがわかった。

3. 石川業六（気研）：微粒子輻射と超高層の熱発生（30分）

微粒子輻射が大気に入射して熱の発生する機構と高度別の発生量を理論的に算出し、また微粒子輻射のエネルギー種別についても現在まで得られた知識をもとにして考察を加える。

**特別講演**

畑中武夫（東京天文台）：太陽活動と惑星空間（60分）  
 （気象技術研究会と共催、午後3時30分より）

2 月 の 例 会

**数値予報、長期予報、気象統計、および  
 気候**

日時：昭和34年2月12日（木）午前9時  
 場所：気象庁第1会議室（千代田区大手町1の7）

午前の部

ルーチンに用いられる数値予報のモデルの説明と、電子計算機の今後の運用について

午後の部

一般研究発表

講演申込

締切：昭和34年1月5日

宛先：東京都千代田区大手町1の7

気象庁 予報研究室 朝倉 正

**気象測器と観測法**

日時：昭和34年2月20日（金）  
 場所：気象庁第1会議室（千代田区大手町1の7）  
 座長：北岡竜海

主題：高層観測（高層観測の器材、観測法、資料、調査などについて）

講演申込

締切：昭和34年1月5日

宛先：東京都千代田区大手町1の7

気象庁高層課 大井正一

3 月 の 例 会

**第8回“航空気象”のシンポジウム**

（日本航空学会と共催）

日時：昭和34年3月18日（水）午後1時より

場所：東京国際空港会議室

主題：高々度気象解析について

講演申込

締切：昭和34年1月25日

宛先：東京都大田区東京国際空港内

東京航空地方気象台 上松 清

2 月 の 例 会

4 月 の 例 会 …… 休 み

5 月 は 総 会 お よ び 大 会 （ 東 京 ）